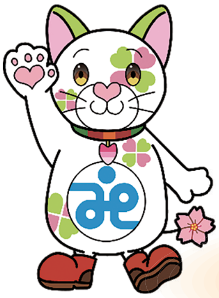


ふれあいネットワーク
曽於市社会福祉協議会情報紙

第92号
令和6年8月15日

手と手

やさしさ100パーセント

今号の表紙絵　「ことばにまほうをかけよう」

第 20 回 曽於市社会福祉大会 福祉ポスター［小学生低学年の部］最優秀賞作品

「だいじょうぶ」とこえをかけてあげたいな

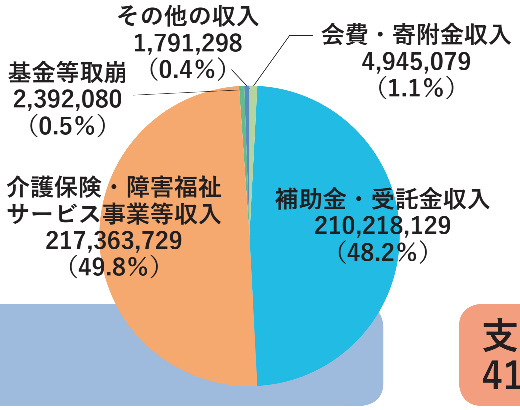
曽於市立柳迫小学校　1 年　福元（ふくもと）　佑汰朗（ゆうたろう） さんの作品

理念　人と人とのつながりを大切に地域と共に歩む
発行／社会福祉法人 曽於市社会福祉協議会 曽於市財部町南俣 504 番地 1（財部保健福祉センター内）
TEL：0986-72-0460・0480　FAX：0986-72-0425

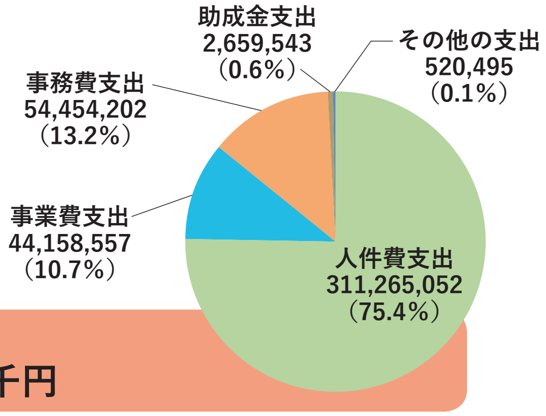
令和５年度の曽於市社協活動 事業報告

令和5年度も社会福祉法第 109　条に基づき、住民の方々、法人、関係団体等の参画を得、地域福祉の推進を図ることを使命として「自主性」と「公共性」という二つの側面を活かしながら、地域共生社会の実現に向けて各種事業を実施しました

●収支決算状況



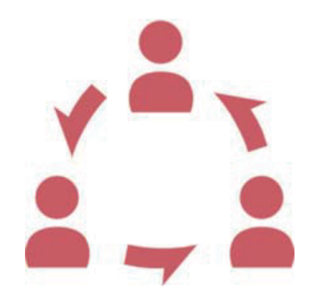
収入の部
436,710 千円



支出の部
413,057 千円

●事業報告概要

みんなが支え合うふくしのまちづくり



- ささえあいネットワーク事業｜ 580 名の在宅福祉アドバイザーによる 1,452 名の要援護者の見守り活動の支援
- 84 団体のサロン活動の支援、59 団体に活動助成金の交付
- ほっとサービス（住民参加型福祉サービス事業）サービス提供数 334 件
- 曽於市内 26 校区社会福祉協議会活動の支援
- 福祉施設・団体・グループとの連絡会の開催
- 在宅介護に悩む方々を支えるほっとカフェの開催

相談支援

多様な相談・支援機能を生かし、暮らしや地域の困りごとに総合的に対応しました

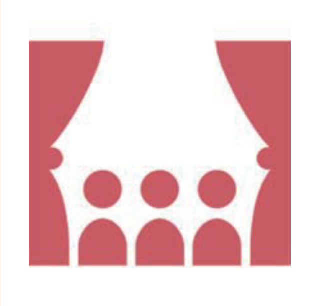
- 弁護士による無料相談　51 件
- 低所得者等への福祉資金貸付相談　88 件
- ボランティア・市民活動支援センター、地域包括支援センター、生活相談支援センター、権利擁護センター等による多様な相談窓口機能

ボランティア・市民活動支援

地域や社会のための活動を応援し、福祉の心を育みました

- ボランティア相談受付　25 件
- 市内の全小中高校をボランティア協力校に指定　22 校
- 小学生を対象とした福祉教育出前講座　473 名参加
- サマーボランティア体験活動等　84 名参加
- 災害ボランティアセンター運営支援者養成研修会の開催　41 名参加
- 手話奉仕員養成講座の開催　修了者　27 名

地域の実情に応じた様々な事業を展開



- 第19回曽於市社会福祉大会の開催
- 障がい者の自宅を清掃するお掃除サポート事業　**80** 件
- ふれあいマルシェの開催
- 体操教室の推進・活動支援　**11** 団体新規開設
- 介護予防普及啓発　人材が輝く地域づくりフェスタの開催　**134** 名参加

権利擁護支援

一人ひとりの権利と尊厳を守るために取り組みました
また、曽於市から中核機関の委託を受け、成年後見制度の利用促進に向けて、
広報・啓発・相談支援を行いました

- 福祉サービス利用支援事業｜専門員 **3** 名　支援員 **18** 名　利用者数 **54** 名
- 法人後見事業｜後見業務従事職員 **3** 名　法人後見事業利用者数 **7** 名
- 成年後見制度の利用促進に係る中核機関（受託事業）

寄り添う在宅福祉サービス

- 指定居宅介護支援事業｜介護が必要な方のプラン作成などのサービス
- 通所介護等事業｜介護が必要な方の通所型サービス
- 訪問介護等事業｜介護が必要な方の在宅への訪問型サービス
- 訪問入浴介護等事業｜介護が必要な方の在宅への訪問入浴サービス
- 小規模多機能型居宅介護事業｜訪問・通所・宿泊を一体的に提供できるサービス
- 居宅介護事業｜障がいを持つ方の在宅への訪問型サービス
- 訪問入浴サービス事業｜障がいを持つ方の在宅への訪問入浴サービス
- 訪問給食サービス事業｜配食サービス

地域包括支援センター受託

曽於市から委託を受け、行政や関係機関との連携を図りながら、
地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを行いました

- 高齢者等への総合相談支援　**290** 件
- 地域の高齢者に対する虐待の防止、早期発見等
- 介護予防ケアマネジメント業務
- 包括的・継続的ケアマネジメント業務｜介護支援専門員研修会、
  地域ケア個別会議、ケース会議の開催等

生活相談支援センター受託

曽於市から委託を受け、行政や関係機関との連携を図りながら、
生活困窮者に対して、本人の状況に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を
実施しました

- 生活困窮者等への相談支援　**93** 件
- 住居のない生活困窮者に対しての宿泊場所の供与等の支援
- 就労支援が必要な方への就労準備支援　**3** 件
- 家計に問題を抱える生活困窮者への相談・支援　**85** 件

曽於市社協の評議員及び評議員選任･解任委員会委員を紹介します

令和6年度第１回理事会で評議員選任・解任委員会委員、第１回評議員選任・解任委員会で評議員が新たに選任されました。選任されたのは次の方々です。

評議員５名
※敬称略　（任期：令和６年６月18日～令和６年度会計に関する定時評議員会の終了の時まで）

（1）中根　賢誠	**（2）富永　勇次**	**（3）竪山　政美**
（3）安田　淳子	**（5）古川　眞一**	

評議員選任・解任委員会委員５名
※敬称略　（任期：令和６年６月27日～令和９年度会計に関する定時評議員会の終了の時まで）

（1）冨岡　親志	**（1）岩元　祐昭**	**（2）和田　幸次郎**
（3）柳田　敏美	**（3）八木　秀久**	

※氏名の前の（　）の番号は、選出区分の番号です。

評議員	(1) 社会福祉事業の経営に関する識見を有する者	(2) 福祉に関する実情に通じている者
	(3) 各種住民組織に属する者	(4) ボランティア活動を行う者
	(5) その他、福祉関係機関の団体に属する者	(6) 関連分野の団体に属する者
評議員選任・解任委員会委員	(1) 監事	(2) 事務局員
	(3) 外部委員	

第20回曽於市社会福祉大会を開催します

大会テーマ「思いに寄り添いみんなで支え合う地域づくり」

開 催 日　令和６年８月24日（土）
開場12：30　／　開会13：00
開催場所　末吉総合センター
内　　容　社会福祉功績者表彰式
最優秀賞福祉作文・福祉ポスター表彰
及び福祉作文発表
講演
地域福祉活動報告　パネルディスカッション
駐 車 場　末吉総合センター駐車場、末吉ふれあい広場
※末吉総合センター～末吉ふれあい広場間の送迎あり

どなたでも自由に参加できます
入場料 無料

同志社大学　社会学部　教授　永田 祐　氏

＜講演＞
つながり・支えあいのある地域共生社会の実現を目指して

福祉団体・施設等によるバザー・紹介ブース
※バザー・ブースは11：30から開始しています
共同募金・日本赤十字社啓発コーナー
児童による福祉ポスター展示
ペットボトルのキャップ回収

お問い合わせ　曽於市社会福祉協議会｜ TEL 0986-72-0460

第20回 曽於市社会福祉大会
福祉作文・福祉ポスター
最優秀賞等一覧

誰もが幸福感に満ちた地域をつくるには、共に支え合い、助け合っていくことの大切さを啓発することを目的に福祉作文・ポスターを募集しました

福祉作文最優秀賞　1名

学校名	学年	氏名	作品名
光神小学校	6年	白坂（しらさか）　愛瑠（あいる）	思いやりの心を忘れないで

福祉作文優秀賞　2名

学校名	学年	氏名	作品名
財部南小学校	5年	西別府（にしべっぷ）　美光（みこ）	つながる思いやり
岩南小学校	6年	有村（ありむら）　陽佳瑠（ひかる）	思いやりを行動に変える

福祉ポスター最優秀賞【小学校低学年の部、高学年の部】　2名

学校名	学年	氏名	作品名
柳迫小学校	1年	福元（ふくもと）　佑汰朗（ゆうたろう）	ことばにまほうをかけよう
深川小学校	5年	村上（むらかみ）　紡葵（つむぎ）	たすけあい

福祉ポスター優秀賞　6名

学校名	学年	氏名	作品名
月野小学校	2年	井下（いした）　琉心（りゅうしん）	みんななかま
大隅北小学校	1年	本鍋（もとなべ）　椿颯（つばさ）	ひとり　ひとり　たいせつ
諏訪小学校	2年	吉ノ園（よしのその）　友樹（ゆうき）	やさしい気もち
大隅北小学校	5年	伊地知（いぢち）　晟矢（せいや）	思いやり
大隅北小学校	6年	豊留（とよどめ）　颯摩（そうま）	できることをさがそう
諏訪小学校	6年	坂元（さかもと）　結愛（ゆあ）	笑顔の町

福祉ポスター奨励賞　11名

学校名	学年	氏名	作品名
財部南小学校	3年	西別府（にしべっぷ）　晴翔（はると）	人のようすをちゃんと見る
諏訪小学校	3年	坂元（さかもと）　真愛（まな）	みんなのえがお
諏訪小学校	3年	九十九（つくも）　陽南（ひな）	みんなの　えがお
柳迫小学校	3年	瀬﨑（せさき）　結莉華（ゆりか）	えがおの町そお市
菅牟田小学校	3年	原田（はらだ）　仁一郎（じんいちろう）	思いやりのクローバー
檍小学校	5年	脇迫（わきざこ）　莉仔（りこ）	小さな気づかい忘れずに
恒吉小学校	6年	森山（もりやま）　颯太（そうた）	多様性のクローバー
大隅北小学校	5年	小濵（おばま）　野空（のあ）	思いやりのある福祉
諏訪小学校	5年	折居（おりい）　結椰（ゆうな）	つなごう　思いやり
諏訪小学校	6年	小堀（こぼり）　栞歩（かほ）	あなたの町は？
笠木小学校	5年	永山（ながやま）　小夏（こなつ）	助け合う心

福祉ポスター入選作品　26名

学校名	学年	氏名
檍小学校	3年	渕之上（ふちのうえ）　楓佳（ふうか）
檍小学校	3年	持田（もちだ）　聖心（せな）
月野小学校	1年	岩元（いわもと）　謙大朗（けんたろう）
月野小学校	2年	今村（いまむら）　守奈美（もなみ）
月野小学校	2年	吉岡（よしおか）　幸華（こはる）
財部南小学校	3年	泊ケ山（とまりがやま）　旭陽（あさひ）
諏訪小学校	1年	重村（しげむら）　友晴（ともはる）
諏訪小学校	2年	高吉（たかよし）　優奈（ゆな）
諏訪小学校	3年	井上（いのうえ）　愛望（あいみ）
光神小学校	2年	中﨑（なかざき）　唯（ゆい）
光神小学校	1年	有滿（ありみつ）　雫（しずく）
柳迫小学校	2年	猪之窪（いのくぼ）　稟（りん）
檍小学校	4年	仮屋（かりや）　諒雅（りょうが）
恒吉小学校	5年	池辺（いけべ）　陽葵（ひまり）
月野小学校	4年	吉岡（よしおか）　怜馬（れんま）
月野小学校	6年	川野（かわの）　遥（はるか）
月野小学校	6年	古山（ふるやま）　心裕（みゆう）
月野小学校	6年	宮原（みやはら）　弘衣（ひろえ）
大隅北小学校	4年	田中（たなか）　琉奈（るな）
大隅北小学校	5年	假屋（かりや）　星來（せいら）
大隅北小学校	6年	野村（のむら）　風華（ふうか）
諏訪小学校	5年	谷口（たにぐち）　栞凪（かんな）
深川小学校	6年	東（ひがし）　由結（ゆい）
深川小学校	4年	中嶋（なかしま）　香柚（こゆず）
菅牟田小学校	5年	福留（ふくどめ）　実結（みゆ）
菅牟田小学校	6年	池之上（いけのうえ）　晃汰（こうた）

最優秀賞福祉作文【小学生の部】

曽於市立光神小学校　六年
白坂（しらさか）　愛瑠（あいる）さん

「思いやりの心を忘れないで」

私の学校は、全校児童十一名の極小規模校だ。そのせいか、みんなが家族のように、とても仲がいい。私も、年下の女の子たちを、本当の妹のようにかわいいと思っている。

けれども、その一方でけんかも多い。この前もこんなことがあった。三年生の男子がまちがえて、同じクラスの四年生の男子のタブレットを使ってしまった。三年生の男子は、他人が自分の物とまちがえても、あまり気にしない性格だった。だから、このときも、軽い気持ちで「ごめんね。」とあやまった。しかし、四年生の男子は、自分の物をだれかが勝手に使うことに対して、ふゆかいに思う気持ちが強かった。さらに、その子のあやまり方に納得がいかなかったため、けんかになってしまったのだ。ふだんは仲良しなのに、なぜ、すぐにトラブルになってしまうのだろうか。

人はそれぞれ、考え方や感じ方がちがう。相手と自分の考え方や感じ方が大きくちがうと、相手の気持ちを想像するのは難しくなる。仲が良いと、ついつい油断してしまい、自分を基準にしたまま行動してはいないだろうか。こんなときは、もっとしん重に、相手の気持ちをよく考えて対応することが必要だと思う。

リスペクトという言葉がある。「ありのままの相手を尊重する」という意味の言葉だ。その人のありのままの姿を理解し、認め、そしてその上で、その人のことを大切に考えて接する。それが本当の意味で、相手を思いやることにつながるのではないだろうか。

私は、今年度ただ一人の六年生として、学校のみんなをまとめようと、毎日児童会活動をがんばっている。四月には、児童会で話し合い、児童全員で目指す「みんなのめあて」を決めた。「だれとでも仲良くする、優しくていねいな言葉を使う、最後までやりとげる」この三つのめあてには、みんなが仲良く楽しい学校生活を送れるようにしたいという願いがこめられている。このめあてを決めてからは、みんな自分から進んでボランティア活動をがんばるようになった。まだまだ、けんかをしたり、乱暴な言葉を使ったりする人もいるけれど、そんなときは、みんなで決めたこのめあてを思い出すようにしている。

この母校で過ごすのも、今年が最後だ。中学校に行ったら、新しい出会いがたくさん待っていることだろう。顔も名前も知らない人たちと、分かり合い友達になれる日は来るのだろうか。不安は大きい。でも、私は、この光神小学校で学んだ思いやりの心を決して忘れないでいようと思う。これから出会うどんな人に対しても、その人のありのままの姿を理解し、受け入れ、大切にしようと努力する自分でありたい。そして、そんな自分も大切にしながら、色々なことにチャレンジしていきたいと思う。そうすれば、きっと、新しい仲間たちとすばらしい中学校生活を送ることができるにちがいない。私はそう信じている。

今回、市内の学校へ福祉作文・福祉ポスターの募集を行ったところ、福祉作文 10 点、福祉ポスター 141 点のたくさんの応募をいただきました。
応募いただいた全てのポスターを第 20 回曽於市社会福祉大会当日、末吉総合センター大研修室に展示しますので、ぜひ、お立ち寄りいただき、福祉の心のこもった作品をご覧ください。
作品に応募いただきました皆様、また、学校関係者をはじめ、募集等にご協力をいただきました皆様に感謝申し上げます。

曽於市生活相談支援センターより

このセンターは「生活困窮者自立支援法」に基づく相談窓口です

曽於市生活相談支援センターは、**生活の不安や悩みを抱えている方からの相談を受け、一緒に考え、解決に向けて支援を行う場所**です。

例えば『働きたいけど自信がない、自分に合う仕事がわからない』といった仕事の相談や『家賃や公共料金が払えない』など**生活の中で出てくる様々な悩みについて一緒に考え、解決に向けてお手伝い**させていただいています。

◀このようなことでお悩みではないですか？
寄り添い、支援を進めていきます。
お悩みの方はまずはお気軽にご相談ください。

曽於市生活相談支援センター
☎0986-57-1750
相談窓口 そお生きいき健康センター内
曽於市末吉町二之方 2342 番地 2

曽於市社会福祉協議会
権利擁護センターより

あなたやご家族、知り合いの方の
困りごと・心配ごとはありませんか？
お気軽にお問合せください
TEL：0986-72-0460

曽於市社会福祉協議会権利擁護センターでは、権利擁護にかかわる制度の普及啓発やしくみについて理解していただく機会として、当センターの職員等が地域の皆さんのもとへ出向き、出前講座を開催しています。
成年後見制度や権利擁護などの暮らしに役立つ情報をわかりやすくお届けする講座です。ぜひ、ご活用ください！

主な内容は？（講座時間は 1 時間～2 時間程度）

●地域で暮らす高齢者の権利擁護について
●障がいのある方の権利擁護について
●事例で学ぶ成年後見制度（法定後見・任意後見）について
●成年後見人の実務と留意点について
●福祉サービス利用支援事業（日常生活自立支援事業）について
●終活（私のエンディングノートの活用・書く際のポイント）について など

終活に関する講座では、曽於市版エンディングノートを活用し、書き方などの助言等を行っています。エンディングノートは参加者に無料配布しています。

希望日の 1 ヶ月ほど前までに下記へお申込みください。
曽於市社会福祉協議会権利擁護センター
電話：0986-72-0460

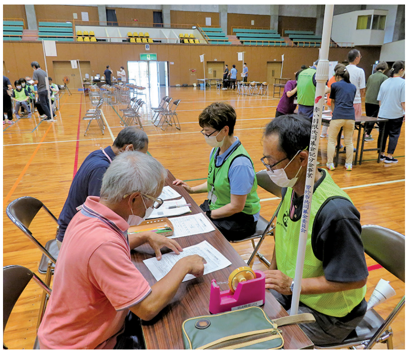
ち い き の う ご き

地域協働による災害ボランティアセンターの運営を目指して

令和６年度災害ボランティアセンター運営支援者養成研修会
令和６年７月27日末吉総合体育館

　近年、地震や台風、大雨等による災害が広範的に頻発している中、被災状況により、被災地に災害ボランティアセンターが設置され、早期の生活再建とコミュニティ復興を目指したボランティアによる支援活動が行われています。

　この災害ボランティアセンターの運営においては、災害が広範囲に及んだ場合など、外部からの支援が困難となることが想定され、地域の様々な担い手の参加と協力による地域協働型でのボランティアセンターの運営が望まれていることから、災害ボランティアセンター運営の力を高めるため、本年度も研修会を開催しました。

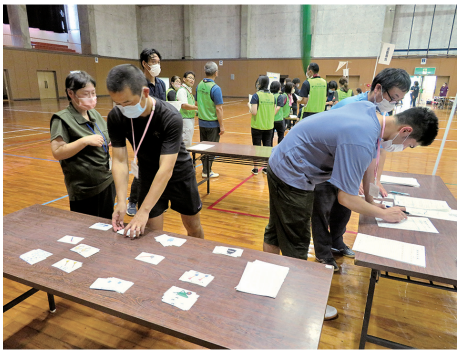


　県社会福祉協議会長寿社会推進部・ボランティアセンター部長兼所長の池下真也氏による災害ボランティアセンターの役割と機能についての講話は、被災時における生活の再建について「被災者の気持ち」に思いを寄せながら自分事として考え、「平常時から自分たちができること」を考える機会となりました。その後、市社協役職員と合同で実際に運営訓練を行いました。

　参加者からは、「日頃から地域とのつながりを作っていくことが大切だと改めて感じた」「研修で学んだことが役立つように復習したい」など平常時からの取り組みが大切であるという声をいただきました。

　誰もが安心して生活するためには、緊急時の想定も欠かせません。そして、平常時から住民同士がつながり、そのつながりの中で何ができるのかを考え、活動を続けておくことが大きな力となります。

　日々の暮らしでのつながりが緊急時における大きな力となるということを含め、地域の皆さんと共に支え合いの地域づくりに取り組んでまいります。



地域とのふれあいを通して子どもたちが気づき・考え実践できる福祉教育を目指して

第１回ボランティア協力校連絡会
令和６年６月20日　そお生きいき健康センター

本会では、市内の全学校をボランティア協力校に指定し、学校や地域と協働の福祉教育を推進しており、協力校の参加のもと福祉教育について意識の共有や連携の強化を図るため連絡会を開催しました。

今回は、南大隅町社会福祉協議会の大竹野氏、南大隅町立神山小学校の田代教諭を講師にお招きし、社会福祉協議会、学校、地域が協働した福祉教育について、福祉教育を推進する思いや以前の福祉教育の取り組みへの疑問から始まった社会福祉協議会、学校、地域資源が連携を密にした実践、学年を通じた福祉教育のカリキュラムの構築等について大変わかりやすくお伝えいただきました。その後、グループに分かれ、コーディネーター、講師の二人も交えながらこれからの福祉教育の実践について意見交換を行い、社協、学校、地域ができることを出し合い、つながりながら福祉教育に取り組んでいく意識を高める機会となりました。少子高齢化や人口減少の進行、社会的孤立や生活困窮者等の増加など、地域福祉の重要性はますます高まる中、地域共生社会の実現に向けて福祉教育の充実を図りながら、地域づくりに取り組んでまいります。

ち　い　き　の　う　ご　き

令和６年度 手話奉仕員養成講習会（基礎課程）受講生募集

曽於市は、手話が言語であるという認識に基づき、手話に対する理解の促進と手話の習得により、聴覚障がい者が生活しやすい社会の実現に寄与することを目的に手話言語条例を制定しており、これに伴って、手話奉仕員の養成講習会を実施しています。

今回、「基礎課程」の講習会を開講するにあたり、受講生を募集します。

手話言語を勉強したい方、聴覚障がいがある方への支援活動をしたい方は、ぜひ、ご参加ください。

開講日程　令和６年９月27日から毎週金曜日（全24回）
※祝日は開講しません。また、日程が変更となる場合があります。

場所時間　曽於市役所本庁 多目的室２（南棟２階）19：00 ～ 21：00

募集人数　**40名程度**　※手話奉仕員養成講習会入門過程を修了した18歳以上の方が対象です。

受 講 料　**無料**　※講習では、「手話奉仕員養成テキスト」（3,300円）を使用します。

申込方法　①電話での申込み　TEL 0986-72-0460
②参加申込書での申込み（FAX 可）
※申込書は、本会ホームページでダウンロードしていただくか、本所、支所でお渡しできます。
③ QR コードでの申込みはこちらから ▶▶▶

申込期間　令和６年９月13日まで

やさしいスマホ講座 参加者募集

スマートフォンの便利な機能や LINE の使い方を勉強してみませんか？ スマホの操作に不安のある人でも安心して使えるように本会の職員と学生ボランティアがサポートします。
皆様のご参加をお待ちしています。

日　時　令和 6 年 9 月 28 日（土）　10：00 ～ 12：00
会　場　そお生きいき健康センター
講　師　曽於市社会福祉協議会職員、学生ボランティア
定　員　15 名（先着順）
対　象　スマートフォンをお持ちの曽於市在住・在勤の方
受講料　無料
持ち物　個人所有のスマートフォン（またはタブレット）
筆記用具
申　込　9 月 20 日（金）までに曽於市社会福祉協議会にご連絡ください。

申し込み・お問合せ先
曽於市社会福祉協議会　TEL：**0986-72-0460**

今回で 4 回目の開催を迎えるスマホ講座。
毎回、学生ボランティアの丁寧で分かりやすい説明で、皆さん楽しく受講されています。
講座の中では社会福祉協議会の業務についても説明させていただいております。

令和6年度「福祉・介護のしごと就職・転職フェア」のご案内

鹿児島県社会福祉協議会が令和 6 年 10 月 26 日（土）、かのやグランドホテル（鹿屋市共栄町 12-3）において、「福祉・介護のしごと就職・転職フェア」を開催します。

オープニングセミナー

時　間　13 時～ 14 時
（受付　12 時 30 分～）
対象者　概ね 55 歳以上の方など
内　容　福祉の仕事についての紹介
定　員　30 名（事前申込み必要）
受講料　無料
申　込　10 月 25 日（金）までに申込書を FAX 又は郵送、もしくは QR コードから申込

就職・転職相談会

時　間　14 時～ 16 時
（受付　13 時 30 分～ 15 時 30 分）
対象者　介護等職場への就職希望者及び令和 7 年 3 月卒業予定の学生
参加法人　20 法人（予定）
参加料　無料（事前申込み不要）
内　容　県内の介護等職場の人事担当者と個別に面談できます。
同会場内に、情報提供及び各種相談コーナーも設置します。

※雇用保険受給中の方は、求職活動の実績になります。

お申込み・お問い合わせ先
鹿児島県社会福祉協議会　福祉人材･研修センター（福祉人材無料職業紹介所）
〒 890-8517　鹿児島市鴨池新町１番７号（県社会福祉センター）
ＴＥＬ 099-258-7888　ＦＡＸ 099-250-9363

在宅での生活を支えます～お掃除サポート事業～

曽於市内にお住まいで障がい者手帳をお持ちの方を対象に、ご自宅の掃除をお手伝いします。皆様からご協力いただいた赤い羽根共同募金のうち歳末たすけあい募金を財源に曽於市社会福祉協議会が助成を受けて行います。高い所や細やかな部分まで手が回らず、お困りのことはないでしょうか。ぜひ「お掃除サポート事業」の利用をご検討ください。

例年、申込をされた方の中に、定員を超えたためお掃除を受けられない方がいらっしゃることから来年度（令和7年度）の事業から、**2年続けてのお掃除はお受けできないこととさせていただきます。**何卒、皆様のご理解をいただきますようよろしくお願いいたします。

例1：令和6年度にお掃除を受けた方は、
令和7年度は申込をお受けできません。
例2：令和6年度にお掃除を受けなかった方は、
令和7年度は申込をお受けできます。

対象者
障がい児・者（手帳保持者）60名程度を予定

掃除してもらえる時期
11月1日から令和7年1月31日までの期間、個別に調整して日程を決めます。

掃除時間
専門業者の清掃員2名で半日かけて掃除します。清掃時間は8時～12時（午前）又は13時～17時（午後）のどちらかです。

掃除場所
①シンク周り、②換気扇、③トイレ、④洗面所、⑤お風呂、⑥窓ガラス、⑦ガラスサッシ、⑧ごみの分別（処分は含みません）

自己負担額
1,000円です。清掃の日に専門業者の方にお支払いください。

申込期日
10月1日（火）から上限に達するまで、随時受け付けます。手帳に記載された内容をおたずねしますので、手元に準備して地域福祉課地域係**TEL：0986-72-0460**にお電話ください。
※9月末までは、周知期間とさせていただきます。

無料法律相談開設について

ひまわりの会による無料法律相談

○相談料：**無料**（相談者からはいただいておりません）
※1回につき相談時間は30分以内
○申込・受付方法：**事前に予約が必要です。**
○お問合せ先：ひまわりの会 事務局 代表弁護士 山口 政幸
鹿児島市山下町12番17号2階
TEL：**099-227-0041**（受付：平日9時～17時）

○相談日時及び会場

会場	相談日時
財部保健福祉センター	**10月17日**（13時から16時まで）
そお生きいき健康センター	**8月29日**（13時から16時まで）
大隅弥五郎伝説の里	**9月19日**（13時から16時まで）

藤尾法律事務所による無料法律相談

○相談料：**無料**（相談者からはいただいておりません）
※1回につき相談時間は30分以内
○申込・受付方法：**事前に予約が必要です。**
○お問合せ先：弁護士法人 大隅広域ディフェンダー
藤尾法律事務所 末吉支所 曽於市末吉町本町1-4-5
TEL：**0986-51-9830**

○相談日時及び会場

会場	相談日時
財部保健福祉センター	**9月10日、10月8日、11月12日**（13時から15時まで）
大隅弥五郎伝説の里	**8月20日、9月17日 10月15日**（18時から20時まで）

たくさんの善意に感謝いたします

曽於市社会福祉協議会では、ご寄付を曽於市民の皆様の地域福祉向上のために大切に使わせていただきます。
掲載につきましては、ご本人の承諾を得てご希望どおりに掲載しております。（R6.5.1 ～ R6.7.31 受付分）

香典返し寄付金

財部地区

松山　博子 様／南
和田　ハツ子 様／
福岡　正一 様／刈原田
米津　ヱイ子 様／上大川原
佐澤　伸一 様／湯田
向園　功 様／宇都
金田　宏明 様／新並木
須賀　寛 様

末吉地区

東　えち子 様／富田
宮﨑　憲勇 様／六町前
宮ヶ迫　睦朗 様／宮原
福丸　宏幸 様／湯之尻
東　順一 様／岩南
柏田　邦義 様／森田上
東別府　鉄夫 様／新町
津曲　悦子 様
末永　國弘 様／西柳井谷
諸留　貢 様／国原西
森山　厚雄 様／国原東
山口　則子 様／原口西
高木　秀久 様／新地
池之原　リツ 様／岩南
匿名／寺田西

大隅地区

中原　ミヤコ 様／持留
米澤　敬昭 様／浅井
田代　信夫 様／おりた
前田　ヒトミ 様／あけぼの
西野　幸雄 様／菅牟田
柴　敬子 様／志柄
黒木　裕久 様／土成
上野　藤章 様／青松段
前田　エイ子 様／あけぼの
朝倉　謙二 様／梶ケ野
亀石　露香 様／東桜ヶ丘
牧之瀬　クミ子 様／東桜ヶ丘
岩切　直志 様／上馬場

一般寄付金品

財部地区

橋本　絹代 様／高塚／ 10,000 円

末吉地区

末吉小学校 昭和48年卒業生一同／13,379円
田實　涼子 様／菅渡上／ 30,000 円
匿名／ 10,000 円
匿名／ 15,000 円

▲鹿児島県グラウンドゴルフ協会よりパイプイス 42 脚と担架 1 式を寄贈していただきました。ありがとうございました。

曽於市社会福祉協議会は税額控除対象法人の証明を受けています。

本会への寄付（一般寄付，香典返し等）は、現行の所得控除制度に加え、**税額控除制度**との選択が可能です。**税額控除**では、税率に関係なく税額から税額控除額を直接差し引きます。
小口の寄付にも**減税効果が大きく**、所得控除と比較してほとんどの場合、税額控除の方が減税効果が大きくなります。

社協公式 SNS・ホームページはこちら

＼地域福祉の様々な情報をお届けしています／

ホームページ　公式 LINE　Instagram

曽於市社協情報紙へのご意見はこちらから

編集後記

暦の上では秋となりましたが、まだまだ暑い日が続きます。皆さま、いかがお過ごしでしょうか？私事ですが、子供たちが少し大きくなって趣味の時間が作れるようになり、ゴルフを始めました。プレーだけではなく、美しい景色を楽しむことのできるスポーツです。いつか子供が大きくなったら一緒にゴルフができたらと考えています。皆様さまも健康を維持しながら趣味など楽しみ、充実ある毎日をお過ごしください。　M・M